

とちぎヤングの会 会員の皆さま

暖かい季節となりました。とちぎヤングの会の薄井です。

会員の皆さんには、日々糖尿病の療養に、前向きに取り組んでおられるもの
と思います。

皆さんご承知のとおり、2022年3月27日日曜に、とちぎヤングの会第1回
講演会が開催されました。コロナ禍であり、今回はWebでの配信になりました。

ご視聴いただきました会員さん、誠にありがとうございました。

一方、当日ご都合がつかなかった方やWebでのご視聴に慣れていない方も
おられたものと思います。やや遅くなりましたが、当日どんな話があったのか、
文章の形でお送りいたします。紙面の都合上、すべてを書き起こすことはできな
いのですが、当日の雰囲気少しでも伝わればと思います。

今後もとちぎヤングの会では、役立つ情報をご提供できるよう努めてまいり
ます。

会員の皆さんには、次回の講演会の視聴を含め、積極的な参加をお願いいたしま
す。

2022年5月吉日

とちぎヤングの会 薄井 勲

第1回 とちぎヤングの会講演会 ご報告 (全15ページ)

～糖尿病とともに歩むあなたの声が聞きたい～

第1回テーマ 「未来の糖尿病治療」

日時：2022年3月27日(日曜)10:00～11:30

配信方法：Microsoft TeamsによるWeb配信

開会の辞：小山イーストクリニック 大橋 博先生

会の設立について：獨協医科大学内科学(内分泌代謝) 薄井 勲先生

特別講演：徳島大学糖尿病臨床・研究開発センター 黒田暁生先生

「脳内膵移植の必要ない、こうなる未来の1型糖尿病治療」

.....

開会の辞：大橋 博先生

前身の栃木県ヤング・小児糖尿病講演会は過去21回にわたって開催されてきました。しかし、2020年以降は新型コロナ禍の影響で2年間開催中止となりました。このたび、会の運営を獨協医大の薄井先生に引き継いで、全県的な組織につくりなおしてもらいました。また、コロナ前にお呼びする予定だった徳島大学の黒田先生にお越しいただき、第1回の講演会をwebにて開催することになりました。今日はよろしく申し上げます。

会の設立について：薄井 勲先生

1. とちぎヤングの会、設立の背景ときっかけ

この時間では、とちぎヤングの会がどのような経緯で設立され、今後どのような活動を目指していくのかについてお話したいと思います。

大橋先生が長きにわたって開催されてきた本講演会は、コロナ禍の影響によって2020年から中断されていました。本会の活動は栃木県糖尿病協会(糖尿病患者さんと医療スタッフの会)に属するのですが、協会会長の麻生好正先生(獨協医科大学内科学(内分泌代謝)内科主任教授、現病院長)より「大切な会なので再開してほしい。日本糖尿病協会の公認手続きをとり、全県的な組織としてほしい。他県に誇れる様な会に育てて下さい。」との助言をもらいました。

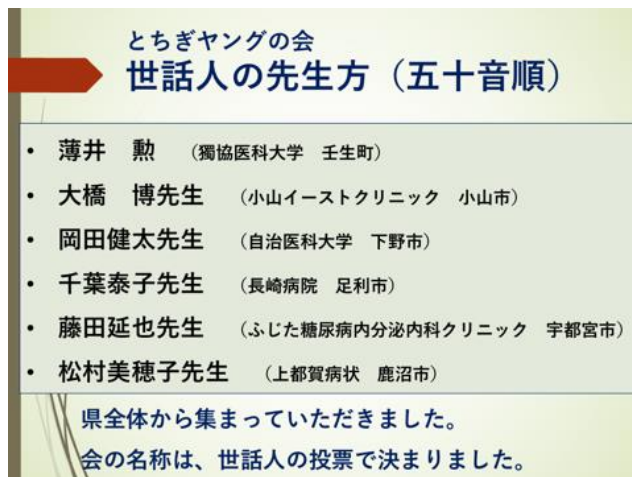
2. とちぎヤングの会、設立から今日までの経過

そこで、栃木県内で1型糖尿病患者さんを多く診ておられる5名の先生方に声をかけ、6人の糖尿病専門医からなる発起人会ができました（会の成立後は、発起人でなく世話人と呼んでいます）。（図1）

会の名称は世話人の投票により「とちぎヤングの会」に決定し、患者さんの募集活動として県内23施設にポスターを配布しました。

ヤングの定義ですが、一般には小児期を過ぎた高校生から40歳台くらいまでを指すのでしょうか。しかし本会では広く情報提供をしたいとの思いから、自称ヤングの方（最高齢は70歳代！）や、ヤング2型糖尿病など、従来のヤングの定義を超えて入会いただきます（図2）。

現在（講演会当日）の会員数は122名（有料会員が22名・無料会員が100名）です。有料会員は糖尿病協会の雑誌である「さかえ」を安く読めるため、より多くの方に有料会員になっていただくことも期待しています。メディア関連として、これまでに下野新聞さんに2回（講演会当日の記事を入れると3回）、読売新聞さんにも1回取り上げてもらい、大変ありがたく思っています。1型糖尿病に対する県内の認知が広がることを期待しています。



とちぎヤングの会
世話人の先生方（五十音順）

- ・ 薄井 勲 （獨協医科大学 壬生町）
- ・ 大橋 博先生 （小山イーストクリニック 小山市）
- ・ 岡田健太先生 （自治医科大学 下野市）
- ・ 千葉泰子先生 （長崎病院 足利市）
- ・ 藤田延也先生 （ふじた糖尿病内分泌内科クリニック 宇都宮市）
- ・ 松村美穂子先生 （上都賀病状 鹿沼市）

県全体から集まっていただきました。
会の名称は、世話人の投票で決まりました。

図1-世話人の先生一覧



とちぎヤングの会
患者会員さんの募集をはじめました

「ヤング1型糖尿病」
高校生～40歳台？
実際には、

- ・ 自称ヤング（70歳台の方も！）
- ・ ヤング2型糖尿病
- ・ 小児1型の親御さん
などなど！

県内23施設にチラシとポスターを配布しました。

図2-とちぎヤングの会活動について

3. とちぎヤングの会が目指すもの

とちぎヤングの会の入会申し込み用紙に、本会に対する要望を記入する欄をつけました。会の開催までに多くのご意見をいただきましたが、主に次の二つにまとめられると思います。すなわち、

- ・糖尿病療養（治療）に関する役立つ情報が欲しい（将来的なものも含めて）
- ・患者さん同士のつながりの場が欲しい

の2点です。

コロナ禍であることも勘案し、ご要望にできるだけお応えできる活動計画を考えました。その結果、次の3点を当面の活動計画として挙げています。

- (1) **講演会の継続開催：** 1型糖尿病に関する情報をお届けします。ヤングという意味では、学校生活や就職、結婚、妊娠などもテーマになります。しかし、広く糖尿病に関するテーマも選んでいきたいと思えます。一方的な講演ではなく、ディスカッションの時間を増やすなどの方法で、会員の皆さんの声にお応えしたいと考えます。また、コロナ終息後は対面式も検討したいですね。
- (2) **県内の情報収集：** 現在栃木県庁さんのご理解とご協力をいただき、1型糖尿病の診療に関する県内の情報収集を予定しています。本日お聞きいただいている会員の皆さまからも、何が知りたいのかのご希望をお聞きし、反映させていきたいと思えます。
- (3) **ホームページの作製：** 栃木県庁の方に集めていただいた情報を、県庁のホームページに掲載していく予定です。また、とちぎヤングの会独自のホームページを作成し、中でも県庁と同じデータをご紹介できるよう交渉中です。その他にも、1型糖尿病に関する最新情報やとちぎヤングの会の活動予定および活動報告、また会員さん同士の情報交換を進めるための仕組みとしてどのような形が可能なのかも模索していきます。

5. おわりに

とちぎヤングの会は糖尿病患者さんのための会です。近い将来、医師以外の会員さんの中から会長が選ばれると良いと思っています。より良い会にするため、会員のみなさんの積極的な関わりをお願いします。